

学 校 長 様  
英 語 科 教 諭 様  
本 学 会 会 員 様

2024年6月吉日

ELEC 同友会英語教育学会会長 本多 敏幸  
同 サマーワークショップ実行委員長 柿崎 伸樹

## ELEC 同友会英語教育学会 サマーワークショップ<sup>®</sup> 2024 (対面・オンラインのハイフレックス開催)

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ELEC 同友会英語教育学会では、本年度もサマーワークショップを開催いたします。1999年に始まりましたこの研修会は今回で26回目となり、多くの現職の先生方、教員志望の学生の方に受講していただいております。

受講者ご自身が行う模擬授業（プラクティス・ティーチング）と選択ワークショップをメインに、指導技術の向上、指導法の改善をめざす研修です。これまで一万人以上の方が受講された「ELEC サマープログラム」のノウハウや、本学会の各研究部会の研究成果を活かした、ELEC 同友会英語教育学会ならではの内容です。

今年度は、コロナ禍以前の対面形式と遠方の方も参加できるオンライン形式とそれぞれの利点を活かした形で実施いたします。たくさんの方のお申込みをお待ちしております。

### 記

- 実施日 2024年8月13日（火）、14日（水）
- 実施方法 対面・オンライン（Zoom）による同時実施（ハイフレックス）  
※ホームルーム研修は、対面/オンライン それぞれで実施します。
- 対面会場 東京学芸大学附属竹早中学校  
東京都文京区小石川4-2-1  
東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 から徒歩12分  
都営バス 都02系統「春日二丁目」下車
- 対 象 現職教員、教職志望の大学生・大学院生  
※本学会の会員・および新規会員で2日間の全プログラムに参加できる方  
※オンライン受講の場合、常時カメラオンの状態で参加できる方
- 定 員 小（ハイフレックス8名）、中高（各校種対面/オンライン各16名）（合計72名）  
※大学生・大学院生は10名以内  
※定員8名のホームルームを編成します。  
対面ホームルーム：中学校2クラス・高等学校2クラス  
オンラインホームルーム：小学校1クラス・中学校2クラス・高等学校2クラス  
※小学校は、対面・オンラインのハイフレックスで実施いたします。
- 参加費 ELEC 同友会英語教育学会会員 5,000円  
(2日間) 一般（新会員） 10,000円（年会費5,000円+参加費5,000円）  
※一般の参加者は、本サマーワークショップへの参加により2024年度の新会員の資格を得ます。本学会の各研究部会、研究大会、オンラインセミナー等への無料での参加が可能です。また、研究紀要やニュースレターの無料配布等の特典があります。

会場アクセス



- 7 参加資格 ・本ワークショップの趣旨を理解して**プラクティスティーチングの準備・実施ができる方**。  
・本学会の会員および新規会員で、**2日間の全プログラムに参加できる方**  
・**常時カメラオンの状態で参加できる方（オンライン参加の場合）**  
※ カメラオンができる通信端末および通信環境を整えた上でご参加ください。

8 申込方法 【**申し込み受付期間：7月1日（月）～7月25日（木）**】（定員に達し次第締切）

- ① 本学会のホームページ (<http://elecfriends.com/>) または右のQRコードより「申し込み専用フォーム」へアクセスし、必要事項を入力して、送信してください。申し込み後、「**申し込みデータの送信が完了**」を通知するメールが自動送信されます。  
※ このメールは申し込み受理のメールではありませんのでご注意ください。
- ② フォーム入力完了後、数日以内に、**申し込み受理**のメールが送信されます。
- ③ **申し込み受理**のメールをご確認の上、送信日より**7日以内**に、メールに記載された方法で、参加費の合計金額をお振り込みください。  
※ メール送信日より7日間を過ぎてご入金がない場合は、申し込みをキャンセルとさせていただきます。
- ④ 参加費振込完了後に、本学会より送信される**入金確認のメール**が送信されます。  
※ 一旦納入された費用は返金いたしません。



9 プログラム概要・時程

<第1日目：8月13日>

- 9:45～10:00 開講オリエンテーション 【ハイフレックス】  
10:00～10:50 講演（講演者：岩瀬 俊介） 【ハイフレックス】  
11:00～11:50 テーマ別選択ワークショップ① 【ハイフレックス】  
(昼食・昼休み)  
12:50～13:40 テーマ別選択ワークショップ② 【ハイフレックス】  
14:00～15:10 体験授業（アドバイザーによる模擬授業・解説・質疑・協議） 【ハイフレックス】  
15:20～16:45 ホームルーム研修(1) 【対面/オンライン それぞれで実施】  
(プラクティス・ティーチング準備 指導案作成 質疑応答)

<第2日目：8月14日>

- 9:30～ 9:50 ホームルーム研修(2) 【対面/オンライン それぞれで実施】  
・プラクティス・ティーチング事前確認  
9:50～12:05 ・プラクティス・ティーチング（受講者自身による模擬授業：授業15分/協議15分）  
①9:50～10:20 / ②10:25～10:55 / ③11:00～11:30 / ④11:35～12:05  
(昼食・昼休み)  
13:05～15:20 ・プラクティス・ティーチング（受講者自身による模擬授業：授業15分/協議15分）  
⑤13:05～13:35 / ⑥13:40～14:10 / ⑦14:15～14:45 / ⑧14:50～15:20  
15:30～16:20 ・ホームルーム情報交換・質疑  
16:20～16:45 閉講式（修了証授与・事務連絡） 【ハイフレックス】

## 10 講演・テーマ別選択ワークショップ

### ◆ 講演 演題：「AI時代の英語教育の不易と流行」

講演者：岩瀬 俊介（学校法人石川高等学校・石川義塾中学校）

#### 講演内容

様々なICT機器の発達やAIの進化により、児童生徒たちの英語を学ぶ環境は大きく変化しています。そういう時代において、英語教育で変わるべきことと変わらないことを考えてみたいと思います。

### ◆ テーマ別選択ワークショップ

※下記①・②からそれぞれ1講座（=計2講座）を選択してください。

どの講座も、小中高いずれの受講者も選択することができます。

	講座名・講師	講座内容
①	1 A 学びに向かう力の支援と評価 長沼 君主（東海大学）	小学校での見取りや振り返りはどのように行っていますか。学びに向かう力を育てるため、課題遂行に向けて、予見・遂行・省察段階でいかに自己調整を支援。評価するか考えます。
	1 B 脳の仕組みからさぐる英語で行う新文型の導入 金枝 岳晴（東京学芸大学附属竹早中学校）	脳の記憶の仕組みを参考にしながら、新文型の導入を英語だけでおこなっても生徒が理解できるためにはどうすればよいか、また、その後の定着活動はどうするかを考えます。
	1 C 内容理解を深めるための英問英答 笹生 綾子（東京都立日比谷高等学校）	日本語訳に頼らず、インタラクションを通して内容理解をするための発問のポイントを確認します。
②	2 D 話すことの即興力を身に付ける指導 本多 敏幸（都留文科大学ほか）	小・中・高で段階的に「話すこと」の即興力をどのように身に付けさせることができるのか、いくつかの言語活動を通してその指導方法を考え、アイデアを共有します。
	2 E 音読の役割・指導法 溪内 明（文京区立本郷台中学校）	教室の音読は、教師自身が音声を示し、生徒の音声をモニターすることが大切です。中学校入門期、新出事項の導入後、前時の復習など、その目的・役割を考え、様々な指導法を体験しましょう。
	2 F まだ間に合う！タイパ向上のための生成AI活用術【基本編】 豊嶋 正貴（國學院大學教育開発推進機構）	先生方の日々の負担軽減、時間を生み出すための生成AIの活用方法をご紹介します。生成AIをこれから使い始めようとしている先生方のための入門講座です。

## 11 プラクティス・ティーチング（受講者自身による模擬授業）の内容

- ・ホームルーム研修で、**受講者1人ずつが、他の受講者を児童・生徒役にして模擬授業**を行います。
- ・使用する教科書は本部から郵送いたします。

#### <小学校>

児童自らが目標をたてて自己調整していくことができる児童の育成を目指す授業について、小5の体験授業を通して、授業の流れの中で児童に学ぶことや学びたいことを見つけさせる授業を考えます。

【使用教科書：NEW HORIZON Elementary 5（東京書籍）】

#### <中学校>

中2・中3の新出文構造と教科書本文の導入を基本とする模擬授業を行います。

Oral Introduction および英語を使用する活動の展開を中心に考えていきます。

【使用教科書：Here We Go! ENGLISH COURSE 2・3（光村図書出版）】

#### <高等学校>

新課程の英語コミュニケーションIの模擬授業を行います。生徒を引きつける授業展開の工夫について考えます。

【使用教科書：LANDMARK English Communication I（啓林館）】

## 12 ホームルーム・アドバイザー/講演者 (五十音順)

### <講演者>

岩瀬 俊介 (学法石川義塾中学校・石川高等学校)

### <小学校ホームルーム>

\*塚本 悠子 (中野区立北原小学校)

幡井理恵 (昭和女子大学附属昭和小学校)

○長沼 君主 (東海大学)

羽田 あずさ (横須賀市立田戸小学校)

### <中学校ホームルーム>

\*荒川 高広 (東京都立桜修館中等教育学校)

黄 俐嘉 (千代田区立九段中等教育学校)

溪内 明 (文京区立本郷台中学校)

本多 敏幸 (都留文科大学ほか)

金枝 岳晴 (東京学芸大学附属竹早中学校)

高瀬 ひとみ (東京都立白鷗高等学校・附属中学校)

原田 博子 (文京区立第十中学校)

○宮崎 太樹 (日野市立日野第一中学校)

### <高等学校ホームルーム>

岩瀬 俊介 (学校法人 石川高等学校)

笹生 綾子 (東京都立日比谷高等学校)

高杉 達也 (筑波大学附属中学校)

豊嶋 正貴 (國學院大學教育開発推進機構)

加藤 淳 (学芸大学附属高等学校)

須田 智之 (筑波大学附属駒場中・高等学校)

\*玉城 洋介 (興南高等学校)

○日高由美子 (千代田区立九段中等教育学校)

○チーフアドバイザー \*アシスタントアドバイザー

## 13 体験授業の授業者

<小学校> 塚本 悠子 (中野区立北原小学校)

<中学校> 原田 博子 (文京区立第十中学校)

<高等学校> 高杉 達也 (筑波大学附属中学校)

## 14 受講に関するお願い

- ・オンライン受講の場合、インターネットが接続できる環境で、カメラおよびマイクが内蔵 (または外付け) されているパソコンが必要です。カメラオンが可能な機材、通信環境を整えてご参加ください。また、Zoom の chat でファイルを送信するため、タブレットやスマートフォンでの受講はできません。接続方法、アクセス情報等は、受講申し込み完了後にご連絡します。
- ・通信費は受講者ご自身の負担となります。
- ・通信環境の設定は、受講者ご自身の責任となります。通信状況の事前確認をお願いします。
- ・受講申し込み後に、参加形態 (対面・オンライン) の変更、並びに、選択ワークショップの講座の変更はできませんので、ご了承ください。
- ・ハイフレックスで実施するにあたり、対面会場で受講される方が配信映像に映り込む場合があります。ご了承ください。

## 15 懇親会

2日目終了後に、対面会場の受講者とアドバイザーを交えての懇親会を企画しております。懇親会は、受講者の皆様と受講者の方同士、アドバイザーとの交流・情報交換ができる、貴重な交流の場です。お時間がありましたらぜひご参加ください。

## 16 問い合わせ先

- ・ご不明な点はEメールでお問い合わせください。

[summerworkshop2024@elecfriends.com](mailto:summerworkshop2024@elecfriends.com)

※ アドバイザーの勤務校等への電話連絡はご遠慮ください。

- ・その他、本学会の情報はホームページをご覧ください。 <http://elecfriends.com/>